



黒髪清楚ビッチなてしこ

～俺が惚れてる幼馴染はゴム嫌いの性欲モンスター～



姫野 撫子 (ひめの なでしこ)

身長:154cm

B89/W56/H86 (Gカップ)

見た目は清楚だけどビッチなJ●♡

**幼馴染である直樹と
同じテニス部に所属しています。
可愛くておっぱいも大きいため
エッチな目で見られることが多いです♡**

**セックスが大好きで
色々な男性とシちゃってます♡
でも、本当に好きな相手は一人だけみたいです。**

嘘だ…

俺——しじま なおき志島直樹は
無意識にそんな言葉を
呟っていた。

でも、ここは夢の中ではないし
俺がさっき見た光景も現実だ。

少しだけ子供っぽいところもあるが
清楚で優しい俺の幼馴染みだ。

ひめのなでしこ
姫野撫子。

撫子…

出入口

ずっと昔、「大きくなったら結婚する」
なんて言い合ってたくらいの仲で
俺の初恋の相手だ。

彼女の家が引っ越したこともあって疎遠に
なっていたが、進学を機に再会して、
これからまた仲良くなるうと思っていた。

いつか付き合えたら…なんて
思ってもいたし、撫子だった。
昔と同じように接してくれていた。

その撫子が、つい数秒前…
知らない男と一緒に
ホテルへ入っていた。

…しかも、楽しそうに笑いながら。



入った先は、所謂ラブホテルだ
相手の男は同年代ではなく、
親くらいの歳のように見えた。

でも、どうして...

頭がどうにかなりそうだった。

どうして、どうして、
そればかりが頭に
浮かび、答えは出なかつた。

そんな状態で歩いていたからだろうか
不意に、クラクションの音が響き――



次に気付いた時は
病院のベッドの上だった。

医者からの説明によれば
俺は信号を無視して道路に
出でしまい、事故に遭ったらしい。

ただ、奇跡的に打ち所がよく、
大きな怪我にはならなかった。

はあ…

大事には至らなかつたとは言え
足を怪我してしまつた俺は
翌日から部活を休むことになつた。

まあ

今は撫子に会つても
どうすればいいか分からないし
ちようどいいかもしれないな

撫子と俺は、
同じテニス部に所属してる。

と言つても、俺が入部したのは
撫子と話す機会が増えれば…
なんて不純な動機だけだ。

いっそのこと、もう辞めても
いいかもしれないな

クラスは違うから
部活にさえ行かなければ
顔を合わせることもない。

…あの笑顔を見る限り、
撫子は自分から進んで
ああいうことをしているんだろう。

でも、俺は撫子の恋人でも
なんでもないし、それを
とやかく言う権利はない。

…だからもう、撫子のことも
彼女に惚れていたことも
忘れてしまった方がいい。

そんなことを考えていると
玄関のチャイムが鳴った。

…仕方ないな

今日は母親がパートだし
俺が出るしかない。

どうせただの配達か何かだろうと
痛む足をかばいながら
玄関に向かうと――

ピポーン

ガ
チ
ヤ
ル

まっ
なお君!

…っ!

扉を開けると、入ってきたのは
配達員ではなく…
初恋の相手
幼馴染みだった。



でね、なお君が部活に
来なかったから、クラスが
一緒の人に聞いたの

そしたら、怪我したって
言うから…心配で
つい来ちゃった

…俺はどうして、撫子を部屋に
上げてしまったんだろう。

そう思う一方で、こうして撫子が
訪ねてきてくれたことを
喜んでいる俺もいた。

柔らかい笑顔で話す彼女を
見ているとあの時見たことは
夢だったんじゃないかとさえ思えてくる。

…なお君？
さつきから黙ってるけど
怪我、痛むの？

いや、そういうわけじゃ…

心配そうに顔を覗き込んでくる撫子。

長いまつげが揺れ
大きな瞳が俺の顔を写す。

ズン

なんだか、今日の
なお君ってば変だよ

何か困ってることがあるなら
私に言って欲しいな

昔よりもずっと美人で
可愛くてスタイルもよくて。

無防備に近づかれると
俺は余計にどうしたらいいか
分からなくなっちゃった。

だから、後ろに下がろうとして…
その拍子に、積んでいた
漫画の山を崩してしまった。

どさ、

あ…っ

ごめん、なお君…って

撫子の視線がある場所で止まる。

その先には…漫画の間に
挟んでおいたエロ本があった。

撫子、それは……っ

そっか……ふふ
なお君はこういうのが
好きなんだね

もう一度俺の方を見た時には
撫子の雰囲気が変わっていた。

嬉しそうな……獲物を
見つけた獣のような
そんな目つきだった。

ねえ

この表紙の女の子…
なんだか、私に似てないかな？

なお君は…私のこと
そういう目で見てたの？

とき
とき

あ、別になお君を責めたいわけ
じゃないよ。ううん……むしろ
そうだったら嬉しい

ねえ、なお君…

ふふっ

そんな漫画より、本物の
女の子の身体の方が――

いっっぱい…
気持ちよくなれるよ？

身体を寄せ、耳元で囁らでくる撫子。

俺はどうすることもできず
ベッドに追い込まれ――

あは

なお君のここ
もうこんなになに…
昔見た時よりおつきい…♡

昔っでらうの話をして…ううっ

待っててね

なお君がいつも見てる
おつきなおっぱいで…
ぎゅうーってしてあげるから

俺をベッドに押し倒すと、
撫子は慣れた手つきでズボンを
下ろし、俺のものを胸で挟み込んだ。

撫子の胸はどこまでも柔らかく
肉棒がまるごと快感に
包まれるような感覚だった。

初めての異性との触れ合いは
我慢汁がドバドバと
湧き出てくるのが分かる。

なお君ってば、部活の時に
おっぱいチラチラ見てたよね？
こういうの、想像してたのかな

まあ
見てたのはなお君
だけじゃなくて…
他の人も、みたいだけど

他の人…それを聞いて、俺はあの光景を思い出した。

むんやむんや

んんんん

ま、待ってくれ、撫子…
お前、誰にでも
こういうことしてるのか？

昨日、知らないおっさんと
ホテルに入って行くのを見て…

…そっか
なお君、見てたんだ

じゃあ、あれは…
本当にお前だったんだな

そうだよ…ごめんね、なお君
私、えっちなことが大好きなの

むにゅ
むにゅ

うん
うん

昨日の人だけじゃなくて
いろんな人としちゃうくらい…
好きで、止められなくて

幻滅、したよね…
でも、なお君のせいでも
あるんだよ…?

俺のせいって
どういう…うぐっ!

今は秘密…
そんなことより—

なお君のおち●ぽ…
とろとろのお汁が
いーっぱい出てくるね

よだれなんて垂らさなくても
おっぱいがぬるぬるに
なっちゃうくらい…♡

匂い嗅いでたら
興奮してきちゃったあ…♡

ねえなお君、これ舐めていい？
いいよね、やだっって言っても
ぺろぺろしちゃうね？

ムニャ
ムニャ

はあ
はあ

おっぱい

ぽ

ぽ
ぽ
ぽ

あ…!

んー？ どうしたの？
身体、びくびく
しちゃってるけど♡

んーが

じゅわん

おニチャおニチャ

ふふっ

もしかして、もう出そうなの？
でも、まだ…だあーめ♡
始めたばかりだもん

なお君だって、もっともっと
気持ちよくなりたいでしょ？

ブルブル

私ね、えへへ…
えっちな舐め方、たくさん
知ってるんだよ？ 例えばあ…

こんな、とか♡

いっくおおお...♡

おま

おっ♡

うめあうー!

ぶぶぶっ

気持ちよさそー...♡

はあ...♡

一番気持ちいいのはどこかなあ?
先っぽの太いところ?
それとも、おしっここの穴かなあ?

おま

おま

くろくろ

いっく



ニ
カ
マ
マ

おん

わっ、ほんとにはやーい
でも、量はたっぷり…♡♡

な お君のせーえきっ…
あ ったかいの…びゅーびゅー
し ちゃってるう…っ♡

始めてから数分しか
経っていないのに、
もう射精してしまった。

撫子の身体は…
それほど気持ちよかった。

顔が精液でどろどろになっちゃった…♡

どろろ♡

あ、わ、悪い
顔を拭くならそこに
ティッシュが…

ううん、いいよ

なお君がそれだけ
気持ちよくなってくれたって
ことだし…嬉しい

ポロポロ

ビョビョ

それに私、精液の匂いも
味も好きなの…だから
顔に出して貰うのも大好き

はあ

はーっ

男の人の匂いに包まれて
ああ、もう駄目…

どきどき

んんん



ムラ
ムラ

撫子…？

ねえ、なお君…
なお君のおち●ぽ
まだおつきいままだよ？

まだ…出来るよね？

お、おい…っ

ね、このまましちゃお？

は—っ

ムムム

なお君だけ気持ちよくなって
終わりなんて駄目だもん…
なお君のおち●ぽ、ちようだい？

ちんちん
くわ
ム

ア
！！

撫子は返事も待たずに
肉棒を穴にあてがう。

待ってくれ
それはさすがに……っ

どうして？

それはその……
俺は初めてだし……

は——っ

ん
ッ

ビク

ビク

く
ちゅ



…つまり、童貞ってこと？

はつきりと聞かれ、言葉に詰まる。

それは正直に答えて
いるようなものだった。

ふうん、そっかあ…
なお君は童貞さん
なんだね

私以外のお…
誰ともしたこと
ないんだ…♡

なお君は、童貞を
食べられちゃうのが嫌なの？

するにしても、その、
もう少しちゃんと…

ムニャ
ムニャ

でも、おち●ぽは
気持ちよくなりたいって
言ってるみたいだよ？

さつきよりおつきくなつてえ…
腰も浮いちちゃって♡

ギ
ギ
ギ
ギ

おま●こに入りたいよおつて
背伸びしてるみたい

はぁはぁっ

私だって我慢出来ないよ…
昔よりずっとおつきくなつた
なお君のおち●ぽ…

こんなの、挿れたら
絶対気持ちいいもん♡

はーっ

はーっ

ぷるんっ

チゅ

んんん

…なお君が本当に嫌だったら
突き飛ばしてもいいから…
それならここでやめる

でもそうじゃないなら…
このまま気持ちよくなる？

いいんだよね……？

なお君の童貞おち●ぽ……
あとちよつとで
食べられちゃうよ……？

んんん

はあ

ぬちゅん

ぐぐぐ!!

ぐり

△

撫子がゆっくりと腰を下ろしてぐぐ……
童貞の俺には、その誘惑を振り払う
なんて不可能だった。



はぁん♡

すず
はぁん♡
はぁん♡

あはっ
なの君の童貞...
食べちゃったあ...♡

はぁん♡
はぁん♡
はぁん♡

はぁん♡
はぁん♡

くっ
やっぱりおつきくてっ
私の気持ちいいところ
全部当たっちゃう……♡

なお君はどう？
初めて感じる、女の子の
中は……気持ちいい？

うああっ……！

ふふっ
声も出ないんだ……♡

ぶぶんん

おつき
おつき

ブル
ブル



でも、まだ挿れたただけだよ？
本当にすごいのは、ここから…
なんだからっ♡

はあはあ

乳首もきゅってして、
なお君のぜーんぶ
気持ちよくしてあげる♡

はあはあ

おんおん♡

ぬちゅ♡

ぬちゅ♡

あっ

おんおん♡

下チヤイマ♡

おち●ぽもっと
硬くなってきたあ♡
もう一回、ずぶうってするね♡

パイズリだけでもすぐに
射精してしまっただけなのに、撫子の
膣はその何倍もの快感を与えてくる。

うーうー

そんな、動かれたら…!

また出ちゃいそうなの？
なお君のおち●ぽは
よわよわさんだなあ♡

でもごめんねっ♡
こんな気持ちいいの、動くの
我慢なんてできないよおっ♡

なお君のおち●ぽが
悪いんだからっ、
仕方ない、よねっ

んんん

はっ♡

んんん

んんん

うーうー

ぬん

んんん

んんん

んっ
撫子っ、本当にもう…
すぐ出そうぞ…!!

女
尻

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ

はっ
んっ
んっ

ぶっ
んっ
んっ

もうちよつと我慢して
欲しいんだけど…
しようがないなあ♡

じゃあ、出していらいよ？
おま●この奥に、
びゅーびゅーしよう？



中はまぎずい、だろ

心配してくれるんだ♡

でも大丈夫だよ…
赤ちゃんできないお薬
飲んでるから

だから、何も気にしないで…
初めてのえっちのあとは
初めての中出し…しちやお？

んっ

はっ♡

あんっ

んっ
んっ
んっ

んっ

んっ
んっ
んっ

ぬっ♡

んっ

しっ♡

んっ♡

んっ

んっ
んっ

んっ



くっ
出てるっ

なお君の
あったかいのっ♡

はっ♡♡

あうっ

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

お腹の奥っ
びゆるびゆるって
叩かれるの、気持ちいい…♡

あー

んはあ

えへへ……♡
なお君、気持ちよかった？

あ、ああ……

とろろ♡
ちち

はあ……♡

圧倒されるまま、俺の初めては
訳が分からないほどに
気持ちよくなつて終わった。

…そしてこの日を境に、
俺の生活はがらりと
変わってしまった。

……

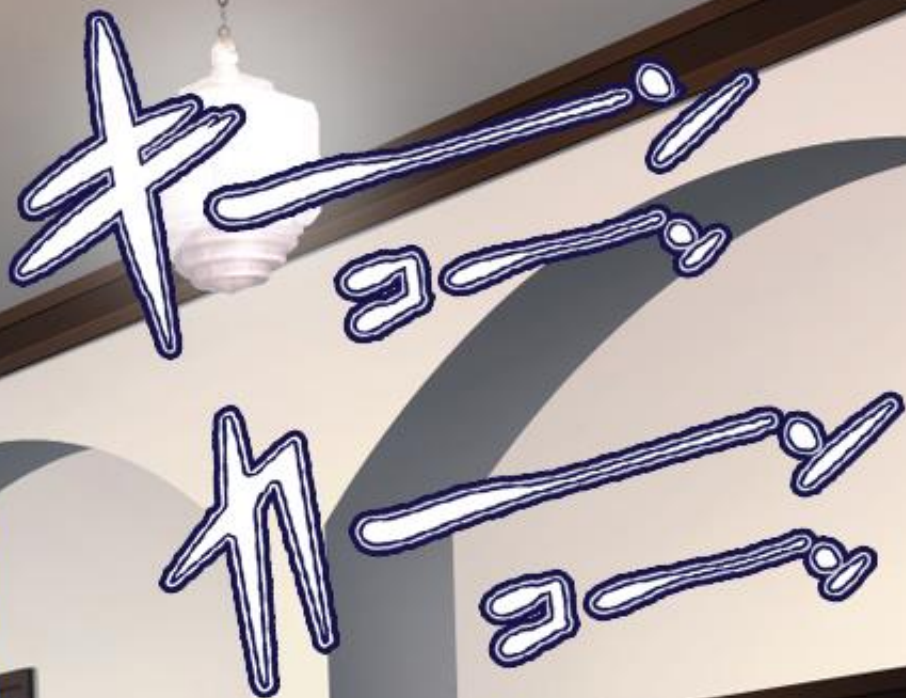
……

翌日の授業はまるで頭に入ってこなかった。何をしても撫子との行為が頭をよぎってしまっ

それはきつと、撫子からきこらんと事情を聞けなかつたことも関係しているんだろう。

セックスが好きだと言っていたがどうしてなのか…俺にしたのはただの気まぐれなのか。

事が終わったあとに聞こうとしたがちょうど俺の母親が帰ってきてしまっうやむやなままになっていた。



なーおきつ

なにぼーっとしてんだ
昼休みだぞ？

ん
ああ、啓介か…

なんだよ
そのつれない反応は

いや、悪い悪い

話しかけてきた友達と昼飯を食い始める。
その最中も、どうしても撫子のこと
頭から離れなかつた。

…本当にぼーっとしてんなあ
今日の直樹は。大丈夫か？

まあ…

腑抜けた返事だな

ま、怪我して落ち込むのも
分かるけどさ

そんなお前に、俺が
特別にプレゼントをやるう

そう言つて啓介が渡してきたのは
一つの紙袋だった。中を覗くと
扇情的な雑誌の表紙が見える。



その足じゃ買い物に
行くのも大変だと思っとな

メ
優しい俺がおかずを
用意してやったって訳よ

どうだ、お前の好みにバツチリ
当てはまってるだろ？

啓介…ありがとな

気遣う方向がおかしい気はするが
こいつなりに考えて買って
きてくれたんだろう。

ただ、こういうものを見ると
余計に昨日のことを
思い出してしまっちゃうぞ。

ぼやく啓介に
俺はただ、ぼんやりとした
返事をするしかなかった。

はあ
早く彼女できねえかなあ…
さっさと童貞を卒業したいぜ

彼女でもいればその子に
してもらえばいいだろうが
俺もお前もいないんだからよ

そんな顔するなよ

カチカチ

ただいま

午後の授業も集中できないうまま
放課後になり、家に戻ってきた。

今日は母親のパートがなく
家にいるはずだ。

おかえりなさい
今日も撫子ちゃんが
来てくれてるわよ

…っ!?

キ!

なに変な顔してんのよ?
リビングで待ってもらってるから
お見舞いのお礼くらい言うのよ

出迎えた母親の言葉に
身体が固まる。

昨日は俺が帰ってきたあとだったから
今日は先に来ていたらしく。

しかし、そんならお母さん
来たのだから…。

こんにちは、なお君

学園で待ってようかと
思ったんだけど、その…

一緒に帰ってくると、みんなに
勘違いされちゃうかと思って

勘違い…分かってはいたが
撫子は俺と付き合うから
ああいうことをしたのではならしら。

だとしたら、本当に肉体関係だけを
求めているわけで…好きな相手から
そう言われるのはショックだった。

...

どう話をしたらいいか分からず
黙り込んでいると、撫子はソファの上で
俺の方へ寄ってきた。

スミ

あんまり黙っていると
おばさんに
変に思われちゃうよ？

それは...お前が昨日、
あんなことをしたからだろ

あんなことって...
こういうこと？

囁きながら、撫子の手が俺のスポンの
上を踊り、昨日の感触を思い出させる。

すっ

ショックを受けているはずなのに
求められると鼓動が高鳴ってしまふのを
止められなかった。

直接見えないとは言え
近くのキッチンに母親がいると知らうのと
撫子は嬉しそうに舌なめずりをして…。

ムムム

モロモロ

あっ
なお君の…
おつきくなつてきちやつたね

だから、それは撫子が…

じゃあ、私が責任
取らないといけないよね

なお君…ちよつと
じつとしててね？

直樹ー？ 撫子ちゃんに
お菓子くらい出しなさいね？

ああ
分かっている！

おばさん、大丈夫ですよ

直樹くんはちゃんと
シてくれますから……♡

…おばさんがこっちに
来ちゃったら大変…
バレないように、声は我慢してね

♡

ビクッ
ビクッ

ずんずん

一日ズボンの中に
いて蒸れちゃった
おち●ぽの匂い……♡

えへへ♡
うずうずしちやう……♡

ムリムリ

びゅん

わああ

コス

汗もかいちゃってるから
私が綺麗にしてあげるね……♡

ふふっ

昨日二回も
したのにパンパンだあ…

したくてしたくて
しようがないみたい

でも、私も一緒…♡
今日ね、授業を受けてる間も
昨日のこと思い出しちゃって…

ん

ん

ん

ん

授業中に、こっそり
オナニーしちゃった…♡

あはっ

おち●ぽびくんってしたよ？
私がオナニーするところ
想像しちゃったの？

ん

ん

ん

そうだよね、私に似た女の子で
抜き抜きしてたくらいだもん

えっちな想像…
したくなっちゃうよね♡

じゃあ、実演してあげる…♡

もう濡れ濡れになっちゃってる音、聞こえるかな

この音でぐちゅぐちゅのおま●こ想像しておち●ぽおつきくしてね？

もちろん…お口でもいっっぱい気持ちよおくしてあげちゃうけど…♡

んっ♡

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

正直に言えば、どこを舐められても
気持ちよすぎで答えるようがなかった。

てんてん

んんん

てんてん

はま

ね、気持ちいいと言ってみて？

昨日も聞いたけど…
なお君の弱いところは
どこかなあ…

くしゃ

くしゃ!

くしゃ

わーおおお...♡

んんん...

教えてくれないの？
だったらいろいろんなところ
舐めちゃおうって

むうっ

こことか、こことかあ...あっ♡
なお君、裏筋ペろペろされるのも
好きなんだね

じゃあ、今日はここばかり
しちやおうかな♡

んんん...

んんん...



たらばら♡

んんん...

んんん...

たらばら♡

んんん...

ぐんぐん...

びちゃ♡

びちゃ♡

くちゅ

くちゅ

おち●ぽびくびく
してきちゃった♡

でも出しちゃダメだよ？
昨日みたいに顔に出したら
おばさんに言い訳できないもん

そう言うなら
もう少し弱く...っ

んんん

はっ♡

んんん

んんん

んんん

えへへ、ごめんなさい♡
それは無理...もつと
おち●ぽいじめたいもん♡

だ・か・らあ...いつ出されても
いいように、お口の中
に入れていじめちゃうね？

んんん

んんん

まふ、

とっぴんぽんぽん

くしゃ

くしゃ

くしゃ

くしゃ

くしゃ

びちゃ

びちゃ

なお君の味
口いっぱいになって…
おま●こ、うずうずしてきちゃう♡

ほら、さっきよりもっと濡れて…
床、濡らさないように
気を付けなきゃ…♡

かすかに聞こえていた
くちゅくちゅとらうらやらしら音が
少しづつ大きくなる。

撫子の中……昨日堪能した快感を
思い出して、身体中を興奮が駆け巡った。

ふーっ

すっぴん

ギン

てい

おちんちん

おちんちん

おち●ぽ、もつとえっちに
なってきたあ…♡



んー？ なあに、なお君
もつとはげひくひてほひいの？

ちが…っ

おめ

ん

アツクツク

アツクツク

ん

ああ、
撫子…っ！

くっゅ
くっゅ
くっゅ
びゅゅ♡
びゅゅ♡
くっゅ
くっゅ
くっゅ
くっゅ

逃げようとしても
らめらよおっ?!

ちゅぽっ

んん

ちゅぽっ
ぽっ
ぽっ
ぽっ

知ってる♡
でも私のはげひく
したいからしひゃうね?

びゅん♡

びゅん♡

ちゅぽっ
ちゅぽっ

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ブルブル

おち●ぽざーめんっ
びゅーびゅーひゆるまれっ♡
はなしてあげないんらからっ♡

ちゅぽっ

ちゅぽっ
ちゅぽっ
ちゅぽっ

ちゅぽっ

くっ、あ……!

ちゅぽんぽん

ほらっ、ほらっ♡
昨日ぶりのほかほかざーめんっ♡
お口にちようらいっ♡

ちゅぽんぽん

ちゅぽんぽん

ちゅぽんぽん

ちゅぽんぽん

ちゅぽんぽん

ちゅぽんぽん

ちゅぽんぽん

♡いっひい♡

ちゅぽんぽん

もう、出る...っ！

ちゅぽんぽん

ちゅぽんぽん

ちゅぽん♡

ちゅぽん♡

ちゅぽんぽん

ちゅぽん

ちゅぽん

ちゅぽん

ちゅぽん

ちゅぽん



おっぱい

おっぱい
No no no.

射精したあとも、撫子は
回を離そうとしなかった。

ズチャマァマァ♡

まるで飲み物をストローで
吸い出すように
尿道の中の精液まで求めてくる。

グググ

グググ

ふーっ

ふーっ

ゆるる

んんん

はーっ

あめ
ぽん

ごちひょうひやま♡

なお君のせーえき
せーんぶ飲んじやった…♡

はーっ

濃くて、おるおるで、
美味しかったよ…んふふ

ドロ



直樹、お母さんちよつと買い物に行ってくるから留守番しておいてくれる？

それと撫子ちゃんよかったら夕飯食べていつでもいいからね

ありがとうございます、おばさん

じゃあ、もう少しいさせてもらいますね…♡

ムリッ
ムリッ

ぴちゅっ

んっが

そう俺の母親に返しながらにんまりと笑った撫子の瞳は発情したように潤んでいて――

この続きは、本編でお楽しみください！！